

若松かねしげ四季報(冬季)

参議院議員・公認会計士・税理士 若松謙維

2014年10月1日～12月31日

突然の衆議院解散により12月14日に行われた総選挙においては、自公の連立与党が、326議席を獲得して圧勝しました。公明党は、現選挙制度のもとで過去最高の35議席(4議席増)を獲得し、その最後の当選者として私の第2秘書で福島担当であった真山祐一さん(33歳)も、当選することができました。年末のご多忙な時期にもかかわらず、献身的なご支援を賜りましたことに対しまして衷心より厚く御礼申し上げます。

今回の四季報では、安倍政権による今後の政権運営も含め、選挙総括と私の政治活動の報告をさせていただきます。私は今年年男、青年の気概で福島再生、地方創生に全力を尽くしてまいります。

1. 政局

(1) 解散総選挙総括と今後の安倍政権の挑戦

安倍総理の外遊中(11月9-17日)、11日午後から急に解散風が吹き、あっという間に12月14日投・開票が確定的となりました。

安倍総理の奇襲ともいえる突然の解散で、消費税10%への引き上げを1年半延期することについて国民に信を問うべきとする総理の考えに対して、一部マスコミより「大義なし」との批判もありました。しかし、本年4月の消費税8%への引き上げによる住宅、自動車をはじめとする急速な消費環境悪化を改善するための「経済対策」と、2017年4月には必ず消費税10%への引き上げを断行する「財政再建」の2つを両立させるという安倍総理や与党の訴えに対して、国民の大きな反対行動は起きませんでした。

一方の野党は、政権選択肢が示せないまま選挙を迎え、投票率は戦後最低の52.66%(2012年総選挙59.32%)となり、各党の議席は、自民291、公明35、民主73、維新41、共産21、その他14、合計475となりました。

小選挙区の自公得票率は49.54%(自民48.10%、公明1.45%)で議席数231となり、定数の78.6%を獲得しました。しかし、比例区では、議席数94に対して、自公得票率46.82%(自民33.11%、公明13.71%)と定数の52.2%獲得にとどまりました。

自公が3分の2を超える議席を獲得したのは、小選挙区特有の制度によるため、12月15日の自公政権合意文書に、「この結果に決しておごることなく」と明記

し、賃金上昇、中小企業の下請け代金値上げ、地方への資金還流、女性活躍推進、地方創生等の諸課題に真剣に立ち向かうこととなります。

(2) 2015年通常国会と統一地方選

12月に解散総選挙となったため、通常12月25日前行う与党税制改正大綱の策定と予算編成は遅れたものの、12月27日には「地方への好循環拡大に向けた緊急経済対策」3.5兆円及び「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」が閣議決定されました。

この緊急経済対策は、平成26年度補正予算として1月26日開会予定の通常国会に提出され、さらに平成27年度予算も3月中に成立させなければならないため、大変窮屈な日程となります。私は予算委員会理事のため、2、3月は国会張り付きの常態化することが予想されます。

また、昨年末の臨時国会で廃案となった「女性活躍推進法案」成立に全力をあげなければなりません。安保法制も予算成立後には審議されますが、マスコミは、あえて自公の対立政策を強調させることが予想され、丁寧な審議と国民への十分な説明が求められます。

このような状況下で、本年4月に始まる統一地方選挙は、民意が正確に反映される選挙でもあり、ひとつも落すことのできない選挙戦です。この統一地方選完勝のため、本年は元旦から最重点区である山形市のきくち予定候補者、2日は仙台市泉区の伊藤予定候補者の新春街頭演説へ応援に駆けつけました。

2. 国会活動・党務

(1) 担当委員会と国会活動

① 予算委員会理事と公明党衆参ネットワーク

秋の臨時国会は9月29日に開会され、本会議の代表質問の後には予算委員会が開催されました。参議院では10月7、8日の2日間、審議が行われ、公明党衆参ネットワーク力を実感した出来事がありました。

9月18日、石巻市の共生型福祉施設「はびねすプラザ」に榎屋本部長（衆）と荒木参議院議員をお連れし視察しました。これは、公明党の提案を受けて被災地に整備が進められている一施設であり、高齢者・障がい者・子どもが年齢や障がいの有無にかかわらず横断的な利用が可能な地域に開かれた施設です。しかし、実際には、障がい者と高齢者を分ける縦割りの従来通りの行政指導により、本来の機能を発揮できないなど、多くの問題が生じていました。そこで、山口代表が10月2日の参院本会議代表質問で取り上げたのを皮切りに、10月3日には衆院予算委で榎屋議員が、10月7日の参院予算委員会で荒木議員がそれぞれ指摘

し、両院で安倍総理が答弁することになり、短期間に石巻市の現場の課題を総理にまで伝えることができたのは、ネットワーク政党「公明党」の本領発揮といえます。しかし、この時の予算委員会では、野党から松島法務大臣のうちわに対する追及があり、結局、2人の女性閣僚の辞任することとなり、この課題への対応が進まないまま11月21日の衆議院解散となりました。

② 内閣委員会

11月11日午前中に開催された内閣委員会では、公務員一般職給与法の改正審議が行われました。目の前に世耕官房副長官（当時）がいたため、解散の可能性を尋ねましたが、その時の参議院では解散に疑心半疑な空気が漂っていました。しかし、その日の午後には解散確定の様相となり、衆議院は完全に選挙モードになっていました。

③ 東日本大震災復興特別委員会

10月27日は、復興特別委員会委員派遣が行われ、復興の明暗を印象づける2か所を視察しました。

石巻市雄勝地区の復興状況は遅々として進まず、帰還予定の住民数が1割前後という厳しい現実を見ました。一方、町のほとんどが壊滅した女川町の復興は、早い段階から女川駅を中心とするコンパクトシティを目指していたため、いたるところで復興の前進が見られました。

これらの視察および下記の福島視察をもとに、11月17日開催の委員会質問では、5項目にわたる復興関係の質問を行いました。

④ 特別国会

総選挙後は特別国会が開催され、12月24日～26日の3日間で、開会式、委員会の立ち上げ、閉会手続、税制改正、補正予算等の国会行事をこなしながら、私の秘書であった真山祐一衆議院議員の議員会館事務所立ち上げ支援等、あっといふ間の3日間でした。

(2) 政務調査会活動

① 税制調査会副会長

12月19日税調役員会から始まり、2回目の25日から与党税制改正大綱策定まで毎日会合が開かれ、平成27年度税制改正大綱が決定したのが12月30日でした。

今回の大綱は、消費税率10%への引き上げを1年半延ばし、平成29年4月から実施することと合わせて、大法人の法人実効税率を現在の34.62%から平成27年度は▲2.51%、28年度は▲3.29%引き下げ、併せて大法人の

外形標準課税の拡大が行われましたが、中小企業への外形標準課税拡大は阻止できませんでした。

復興支援税制も、福島復興再生拠点に協力する土地買収の譲渡所得 5 千万円の非課税措置等も盛り込むことができました。

② 環境部会長

環境省の業務はこの数年間で大きく変わり、現在は、地球温暖化等の地球環境政策、福島除染、中間貯蔵施設を含む水大気環境政策、さらには原子力規制委員会を所管しており、省全体が福島県と深く関係しています。このため、定期的に部会を開催しており、福島復興の進捗状況を把握したり、来年12月のCOP21（地球温暖化対策枠組条約締結国会議）を成功させるためのプロジェクトを党内に設置する手続きを進めています。

③ 半島振興プロジェクト

本年3月末で期限切れとなる「半島振興法」の改正が必要となるため、10月5日は下北半島の青森県むつ市内にある本州最北端のワイナリー視察や、青森県、むつ市行政と弘前大学などとの意見交換会を開催し、6日には津軽半島の五所川原鉄道経営者と懇談、さらには竜飛岬の青函トンネル坑内視察等、半島の課題と地域資源の可能性について研究しました。

いずれも、道路の重要性が訴えられ、半島交付金の創設等、半島振興につながる政策実現に尽力してまいります。

3. 国会外・地域活動

（1）公明党結党大会「感謝の集い」

11月17日、衆議院解散総選挙の流れが決定的になった中、都内のホテルで開催された「感謝の集い」で、山口代表は、公明党50年間を支えて頂いた方々へ3つの感謝を述べられました。まず、公明党を創設して下さった創立者池田大作創価学会名誉会長、そして党员、支持者の皆様、さらには自民党との連立政権にご指導くださる各界の皆様に、甚深の感謝の意を表されました。

10日間の外遊を終えた安倍総理の来賓挨拶は、自民公明の信頼感の強さが十分に伝わる内容でした。

（2）公明党県本部大会

11月は、9月21日の党大会を受けて、各県本部の代表選出が行われる予定でしたが、突然の総選挙も影響し、私は10月13日の宮城県本部と11月2日の

福島県本部の大会に出席し、それぞれ現県本部代表の再任手続に立ち会いました。

(3) 公明党福島復興加速化本部議長

10月18日は、双葉町の町長および避難者との住民懇談会をいわき市内で開催し、中間貯蔵施設受け入れに対する当事者の思い、要望等を伺いました。

10月22日は、井上幹事長および斉藤幹事長代行と福島第1原発施設に入り、作業状況を視察しました。1年前の視察時に比べ、がれき等が整理されており、4号機のプール内燃料棒もほぼ移管しており、東電関係者1千人、協力会社6千人の作業員の休憩所用建物も完成間近となり、明らかに、この1年間で原発廃炉作業の前進が確認できました。

11月2日は、山口代表及び高木経産副大臣とともに、川内村の村長と住民合同の懇談会、11月8日は津波被害で避難生活を送られているいわき市民との懇談会、11月16日は郡山市内で富岡町の町長と住民合同懇談会にそれぞれ出席しました。

(4) 党員会

この期間の党員会は、次の4会場に出席しました。

10月4日 南相馬市

10月22日 仙台市青葉総支部

11月19日 秋田第一総支部

11月25日 山形県村山支部

秋田の総支部会では、解散直前の会合となったため、NHKをはじめ、多くの地元マスコミの取材がありました。

(5) 統一外選挙

10月19日は、青森市と遠野市の市議選があり、私は遠野市の新人議員応援をさせていただき、公明党初のトップ当選となりました。

青森市は、投票2日前の17日夜、国会から飛行機で駆けつけ、夜7会場で最後のご支援のお願いをさせていただきました。

(6) 福島知事選

全国注目の福島県知事選は、公明党県本部支援となった内堀まさお候補者応援のため、10月18日のいわき市決起大会、25日の最終日の打ち上げの応援に行きました。東日本大震災発災当時から副知事として復興に取り組んできた、内堀新知事と連携を密にして福島復興に取り組んでまいります。

(7) 衆議院解散総選挙

急な解散により、できることは限られており、まず、予定候補者の紹介ニュースレター8千部を私の関係者に郵送しました。

私は、候補者に近づく行動を取ろうと、衆議院解散日(11月21日)から投票前日(12月13日)まで、22連泊の戦いを貫きました。

11月22日の福島復興サミット(郡山市)、23日の大仙市、新庄市の会合、24日の山形県全域の挨拶、25・26日は北海道10区での公認会計士、税理士、行政書士約60事務所を訪問して挨拶するなど、戦いを開始しました。

公示日の12月2日は、山形1区の自民党候補者の出陣式に出席し、小選挙区候補者の応援と比例区公明党の支援依頼の演説を行いました。

毎日変化する天候と宿泊環境に対して、3日に1度の自宅からの宅配による着替え補給で乗り切り、この間、候補者となった真山祐一元秘書の穴埋めを国会と仙台担当秘書が支えてくれ、若松事務所として約2千件の電話による投票依頼をすることができました。

公明党9小選挙区最後の当確が北海道10区のいなづ久さんに出され、公明党35人目最後の当選者として、33歳の一番若い真山祐一さんに比例東北ブロック最後の当確がでたのは日付を跨いだ午前1時半でした。

同世代の青年が、深夜の当選バンザイに参加してくれ、6度目挑戦による東北悲願の2議席獲得が現実となりました。最後まで、執念の支持拡大をしてくださった党员支持者の皆様に、改めて厚く御礼申し上げます。

(8) 現場視察

10月19日は1千メートルの山々を有する山間地、岩手県葛巻町の地方創生のモデルを視察しました。鈴木町長は数年ぶりの再訪問を歓迎してくれ、改めてこの40年近く国の補助事業をひとつも無駄なく活かし、現在は社会人口減少をゼロ近くに減らした実績は、参考とすることのできる事例が数多くありました。

11月3日は、輿水衆議院議員と、1年前からさいたま市岩槻区の青年農家10人が昨年から取り組んでいる、ヨーロッパ野菜畑を視察しました。短期間で1千万円の売り上げを生み、地域ブランドになりつつある背景には、埼玉県内の食料品商社の協力があり、農業6次化のモデルを学ぶことができました。

(9) マラソン

衆議院解散直前の11月16日朝、自己の体力チェックの意味もかねて20年前から参加し続けている上尾シティマラソンに意を決して参加しました。結果は5kmの部で26分59秒、50歳代130人中37位で完走しました。

その後は、富岡町の避難者との住民懇談会に直行しました。

5. 若松事務所の現況報告

第2秘書の真山さんが衆議院議員となり、現在は福島の地元秘書が不在となっています。福島国会議員2人体制となったことで、効果的な拠点編成のための準備を進めています。

①国会事務所（恩田政策秘書、菊池秘書）

従来通り、恩田さんと菊池さんがサポートしています。

*東京都千代田区永田町2-1-1 参議院議員会館1207号室

Tel:03-6550-1207 Fax:03-6551-1207

②郡山事務所

今後、郡山市在住の真山さんの拠点になる予定です。このため、県都である福島市内に私の事務所移転を準備中であり、決定次第、ご案内させていただきます。

*福島県郡山市豊田町5-15 豊田第一ビル1階

Tel:024-925-3448 Fax:024-925-8732

③仙台事務所（佐藤第1公設秘書）

*事務所：宮城県仙台市若林区新寺5-9-20

Tel:022-292-0560 Fax:022-292-0561

④上尾事務所（公認会計士業務および資金管理団体〈市民フォーラム〉の活動拠点であり、妻がサポートしています。）

*事務所：埼玉県上尾市仲町1-4-16

Tel:048-777-3515 Fax:048-777-3516

⑤新橋事務所—企業新生、事業再生、税務コンサルティング等の高度な相談事項、NPO法人行政再生の仲間との行財政構造改革（財政の見える化）などの政策立案の活動拠点です。末松さんがサポートしています。

*事務所：東京都港区西新橋3-5-2

Tel:03-5777-2123 Fax:03-5777-2130

以上